

合併後に見直される 新市建設計画

番組では合併協委員だった人
たちから、今になって色々な意
見がでました。

青島さん(元合併協委員・静岡
商工会議所相談役)は、「あの時
は合併させなければと、かつか
かつかきていたから、そこで清
水からの強い要望を入れて建設
計画を作った。もし、それを断
るようなら、合併協はおしま
いだった。今、政令市になれる所
で冷静に再検討しようというこ
と」「ハコモノを言ったのは清
水の委員ですよ」と見直しが当
然だと話しました。正直な話だ
と思いました。

とにかく期日までに合併を
現させるためには、清水の要望
を入れて計画を作らなければな
らない。だから、妥協した計画
でまとめて、合併後に見直せば
良いという言い分です。

あまりにも、清水の市民を馬
鹿にした話です。そして、それ
に乗せられた清水の合併協委員

や議員は、情けないと思います。
また、時代が変われば見直し
は当然という意見を、織田高行
さんや風間重樹さん(元合併協委
員、元清水J.C理事)も言いま
した。

財政の根拠も含めて、四年も
掛けて建設計画を作り、合併を
見直しを言うのです。合併協で
審議していた時も、国の財政危
機、道州制、少子高齢化、世界
経済の低迷、これらは全員が知
っていたはずです。

ハコモノだらけの建設計画を
作って、今度は見直すな
ど、民間企業なら責任者は辞め
させられて当然です。今の行政
は、誰も責任を取らなくて良い
仕組みになっていると思います。

建設計画に疑問を持ち合併に
反対した人が、計画の変更を言
うのは当然ですが、「飛躍的発
展の可能性を秘めた計画」と自
慢してきた本人たちが見直しを
言うのですから、清水だろうが
静岡だろうが市民は救われませ
ん。

建設計画では「静岡・清水・
東静岡の三つの都市核を持つま

ちづくり」を大きな柱として掲
げました。しかし、都市核をど
う整備するのかという問題は、
市庁舎をどこに建設するのかと
いう問題にすり替えられています。
番組でも、小桜さんが小嶋
市長に問いかけましたが、市長
は答えませんでした。

政令市への ビジョンがない

「最大の権限と財源」持つの
が政令市と説明されますが、番
組では、市長に対しては私も小
桜さんも、「話が逆転している、
どういうまちを作るかのビジョ
ンが先にあるべきだ」と言いま
した。

これに対して、風間さんは、
「ビジョンをゆっくり作ってい
たら間に合わない。まず権限を
手に入れることが必要だ」と言
いました。が、どんなまちを作り
たいのかを議論する中で、どん
な権限が必要なのかという話が
出てくるはず。はじめに政
令市や合併があつて、中身は後
からでは本末転倒です。



SBSテレビから

番組では司会の野路毅彦キャ
スターが政令市昇格を会社の昇
進に例えて「何をやるのかも判
らず、課長から部長になって給
料が増えたと喜んでる上司で
は困るのでは」と質問しました
が、小嶋市長の答は「政令市に
なつて、一番市民が実感するの
は道路整備なのです」というも
のでした。

政令市へのビジョンを語って
欲しいという質問の返事がこれ
ですから、理解に苦しみます。

政令市昇格で増える負担

政令市になることで、市街化
区域の農地が宅地並課税となり、
税金が二から三倍になります。

番組の収録では、小桜さんが
「前もって知らせないのか。な
らない方が良いという人もいた
かも」と言うと、小嶋市長は、
「静岡は合併してから少しづつ
知らせていたんですが、清水か
ら、ちよつと待ってくれと言わ
れた」ので公表が遅くなったと
説明していました。



静岡市の 区制

清水区

葵区

駿河区

宅地並課税は国の制度です。
政令市をめざすことを、旧静岡
市は総合計画でも決めていまし
た。課税について調べていまし
たのでしようか。総合計画を
作るにあたって行政がいい加減
なことをするとも思えません。
それともわかっていたのに、農
家の反対を怖れて隠していたの
かと疑いたくなります。

区制への誤解

政令市の区制について、誤解
している人が多くいます。「今
は、静岡方式で合わせられてい

るが、政令市になれば、清水独
自の事業ができる」と期待する
意見をよく聞きます。

静岡市が準備しているものは
「小区役所制」で、区の権限や
機能を最小限に押さえるもの
です。

戸籍・国保・福祉など市民サ
ービスと、地域コミュニティの
ソフト面への対応、区としての
イベントなどを行うものです。

それに対して、本庁業務は、
管理部門や政策的なこと、福祉
などの基本計画を決めます。当
然最終的には、市民サービスの
レベルを決めるようなこと、公
共施設の建設改修や道路整備な
どは、市の総合計画や実施計画
として、市長と議会が決定し、
予算を決めます。

また、区長は、部長などの人
事と同じように決められます。
区長選挙は制度としてありませ
ん。

まちの未来 決めるのは私たち市民

結局、この合併は、新しいま
ちをつくるための手段ではなく、

合併すること自体が目的だった
のだと思います。

青島さんは「妥協しなければ
合併協がおしまいだ」と弁
解していますが、おしまいで良
かったはず。ただ、ただ、合
併を決めたかっただけ。政令市
になりたかっただけだったので
す。

しかも、妥協はその時だけで、
後でいくらでも見直しできるか
らと考えていた静岡側の委員の
目論見を見抜けず、「要望が実
現した」と喜んでいた清水側の
委員は、うまい話に乗せられた
のでしようか。

もちろん、市民も騙されたわ
けです。国保料値上げや宅地並
課税を押しつけられる静岡の人
たちも、清水の市民も、誰に怒
りをぶつけるべきか、わかつて
きたと思います。

市民が見抜く力をつけないと、
市民がきちんと発言していかな
いと、このまちは、本当に沈ん
でしまいます。「まちの未来、
決めるのは私たち市民」私たち
市民のあり方が問われているの
です。

